

令和元年度第1回太白区区民協働まちづくり事業評価委員会 議事録

○日 時：令和元年5月25日（土）午前9時～午後12時

○場 所：太白区役所4階第1会議室及び第2会議室

○出席委員：青木ユカリ委員長、岡部邦彦副委員長、笹崎久美子委員、佐藤浩委員

○事務局：竹森まちづくり推進課長、千葉地域活動係長、
高橋地域活動係主事、竹内地域活動係主事、菅原地域活動係主事

○会議内容

1 開会

2 議事（第1回）【非公開】

議事録署名委員に佐藤委員を指名した。

（1）評価方法について説明

（2）企画事業の概要説明

3 平成30年度企画事業実績報告会 【公開】

（1）開会

（2）実績報告及び質疑応答

「地域と共に育む子供の健康づくり事業」の実績報告及び質疑応答

[委員] 意識づけの目標シールは毎年実施していたのか、また児童館ごとで実施しているのか。

[報告者] 毎年実施しており、児童館ごとの集計である。

[委員] 児童たちの目標が見える化できているところがとても良い。講座実施後もコミュニケーションがとれているのか、事業全体イメージ図の学校とのつながりはどのような対応を行っているのか教えていただきたい。

[報告者] 講座終了後も、他事業での交流などでつながっている。学校では、今年度3学年で講座を実施し、学校にはパンフレットの配布や終了後の意見調査をお願いした。依頼があれば今後も続けていきたいと考えている。

[委員] 児童自身、健康に対する意識は低いと考えられるが、集客はどのように行っているのか。また、講座終了後は児童館の先生と職員の意見交換等をしているのか。

[報告者] 講座は児童クラブの時間に実施しており、児童クラブの子は基本的には参加している。児童には、事前に先生からこの時間は講座があるということを説明いただいている。児童クラブ以外の子は自由参加となっている。先生とは、講座実施後に意見交換と地域の情報共有をしており、親を変えるのは難しいけれど子どもが学んでいくのは大切、先生方も自主的に子供たちの健

康について取り組みはじめたという意見もいただくことができた。

[委員] 具体的に先生方が行っている取り組みについて教えていただきたい。

[報告者] 個別の対応になるが、夏休みのお弁当のバランスが取れているかを確認する等取り組んでいただいている。

[委員] 現在の枠組みを超えて、連携を強化していただきたい。

「秋保ミュージアム環境整備支援事業」の実績報告及び質疑応答

[委員] 収支のうち、講師謝礼が0円であったが、ほかの地域の人を講師に呼ぶ等の意見はでていないのか。

[報告者] 毎年会議をしているなかで、今回については他の地域のことは議題に出なかった。

[委員] この事業が続いている要因はなんだと考えているのか。

[報告者] 楽しさだと思われる。

[委員] 具体的に、何が楽しいか教えていただきたい。

[報告者] その場所に行くことが楽しいというだけでなく、自分の提案が形になる、役所があまり介入しない、ペースを急がずに活動できるという点だと考える。

[委員] 主体性・仲間・絆というのが今の活動に見え、住民・行政の協働がうまくできている。活動集のようなものを作成し、他地域に情報発信していただきたい。

[委員] パンフレットの写真も委員の方が撮影しているのか。

[報告者] 委員全員が5月以降に写真を撮り始め、11月頃に持ち寄って使用する写真を決めている。写真担当は特に決めていない。

「まつりだ秋保」の実績報告及び質疑応答

[委員] 前年度のステージ出演が0というのは、雨天開催であったためか。また、まつりの規模は拡大しているのか。

[報告者] 雨天のためである。ステージには屋根がないため、雨天時は出演が困難となる。まつりの規模については、秋保は高齢化率が高いが、若返りも少しずつ進んでおり、徐々にではあるが拡大していると思われる。

[委員] 地域外の来場者が増えたとのことだが、地域外へのイベントの周知はどのようにしているのか。

[報告者] 生出地区までになるが、新聞広告を行っている。

[委員] 問題点・課題にテントの設置数や出演者の内容等について改善策とあるが、改善要望があったのか教えていただきたい。

[報告者] マンネリ化しないよう、事業を見直していくという意味である。ステージで来場者と一緒にできるものがほしいとの要望は出ている。

[委員] フードドライブは毎年実施しているのか、また反応や集まり具合はどうだったのか。

[報告者] 今回初めて実施した。反応等については、把握していない。

「秋保地区スポーツレクリエーション大会」の実績報告及び質疑応答

[委員] 旅館等の企業の方はなかなか参加が難しいとのことだったが、どういう視点でどう関わってもらえるか検討していただきたい。委員会活動は12月から3月ということだが、年間を通してサロン形式のような会議も行き、全地区の人と交流できる場をつくってはどうか。

[報告者] 運営委員会も高齢化しているので、サロン形式の会議は取り入れていきたい。企業については、老人ホームなどもあるが、現時点での参加は厳しいとの声をいただいている。関わり方について、再検討していく。

[委員] 種目はどのように決めているのか。

[報告者] 半分は新規の種目に変更している。内容は、体育館の運営関係者等からアドバイスを受けて決めている。

[委員] ボッチャなど車いすの方でもできる種目も取り入れることで、参加者の幅も広がるのではないか。

[委員] 備品は支所のものなのか。

[報告者] 8割は支所のもので秋保体育館に保管している。残り2割は仙台市体育館等他の施設から借用している。

[委員] 普段、地区の方に貸出は行っているのか。

[報告者] 大会の2週間前から練習している町内会はあるが、普段は行っていない。

[委員] 新規の参加者は増えているのか。

[報告者] 極端に増えてはいない。町内会の参加が義務になっており、引っ越してきたばかりの人や小学生とその親は参加しやすい状況になっている。

[笹崎委員] 活動をしているなかで、一番の問題点はなにか教えていただきたい。

[報告者] 審判の人材不足と高齢化である。審判をやれる方が限られており、毎年参加者として出場できない状態である。

「太白区まち物語」の実績報告及び質疑応答

[委員] 作成団体は、手あげなのか。

[報告者] 手あげの団体もあるが、作成までの労力等の理由からなかなか希望する団体がなく、事務局からの声掛けが多い。今後は、冊子ではなくマップや小冊子に対象範囲を拡大することも検討している。

[委員] 冊子の販売金額について教えていただきたい。

[報告者] 一部1,200円で販売している。

[委員] 地域の歴史と文化を知ることができるいい冊子だと感じる。この冊子を太白地区全域でつくりあげていただきたい。また、まち物語を作成した各団体が情報交換をする場を設けてはどうか。

「太白区民まつり」の実績報告及び質疑応答

[委員] 今回は特別開催ということで、ステージにすべての団体が出演できたようだが、例年は申込多数の場合は抽選となるのか。また、1時間延長したことによって運営側の負担は増加したのか。

[報告者] 例年であれば、申込多数の場合は抽選である。時間延長により、会場撤去作業を翌日という負担があった。

[委員] 今年も会場は杜の広場なのか。

[報告者] 11月4日（月・振休）に杜の広場で開催予定である。

[委員] 新旧住民への周知を徹底していただき、様々な世代に参加していただきたい。

[委員] 中田地区のような区役所から距離のある地域でも、あすと長町付近は通り道であるので杜の広場での開催はとても良いと思う。テント村やステージ出演について、昨年度よりも長町地区以外での出演・出店が増えていたように感じたが、何か取り組みは行ったのか。

[報告者] ステージ出演については、毎年4つの連合町内会に出演依頼をしている。テント村については、会場移転の連絡と併せて、過去出店していた団体に情報提供を行った。

(3) 閉会

4 議事（第2回） 【非公開】

(1) 評価

(2) その他

5 閉会